

# 守り育てよう みんなの文化財



指定 絵画 絹本著色愛染明王像  
(金光寺 [福知山市])

# 39

令和2年度新指定・暫定登録文化財の紹介

京都府教育委員会

# はじめに

京都府教育委員会は、京都府文化財保護条例（昭和 56 年京都府条例第 27 号）に基づき、令和 3 年 3 月 30 日付けで 3 件の文化財を指定し、1 件の文化財環境保全地区を決定しました（詳細は以下の表のとおり）。また、89 件の暫定登録文化財の登録を行いました。

京都府指定・登録・暫定登録の文化財については、その保護を図るために、所有者が行う修理・保存事業等に必要な経費の一部を補助しています。この冊子では、文化財保護のために行った補助事業の一部を紹介するとともに、指定文化財を写真で、暫定登録文化財を一覧表で紹介しています。

また、京都府教育委員会は、令和 2 年度に第 2 期教育振興プランを策定しました。その中で、「府内各地の文化財が、地域で愛され、誇りとして適切に保存・継承されて」いることを目指す教育の姿としております。

地域の文化財を守り育てていくためには、郷土の歴史や文化への理解を深めていくことが必要です。本冊子が一助となれば幸いです。

令和 3 年 10 月

## 令和 2 年度 京都府指定等文化財一覧

番号	区分	区別	名称	年代	所在地	所有者
①	美術工芸品	指定	<small>けんぼんちやくしよくあいぜんみょうおうぞう</small> 絹本著色愛染明王像	鎌倉時代	福知山市	金光寺
②		指定	<small>もくぞう ぼ さつりゅうぞう</small> 木造菩薩立像	鎌倉時代	長岡京市	勝龍寺
③		指定	<small>こんび ら やま こ ふんしゅつ ど ひん</small> 金比羅山古墳出土品	古墳時代	木津川市	京都府
小計		3 件				
④	文化財環境保全地区	決定	<small>しんでんじんじゃぶん かざいかんきょうほぜんちく</small> 新殿神社文化財環境保全地区	—	精華町	新殿神社
小計		1 件				
合計		4 件				

令和 2 年度において、京都府暫定登録有形文化財の建造物 3 件（八坂神社末社美御前社、八坂神社末社日吉社、八坂神社末社大年社）が国の重要文化財に指定されました。また、美術工芸品 3 件（絹本著色愛染明王像 [金光寺]、木造菩薩立像 [勝龍寺]、円筒埴輪棺 金比羅山古墳出土）が京都府指定文化財となりました。それに伴い、それらの京都府暫定登録文化財の登録が取り消されました。



〈指定 美術工芸品（絵画）〉

①絹本著色愛染明王像

時代：鎌倉時代

法量 縦 148.6cm 横 86.8cm

所有者：金光寺（福知山市）

※法量は描表装含む

福知山市金光寺に伝来した鎌倉時代の制作と考えられる愛染明王像です。一面三目六臂の愛染明王が宝瓶上の蓮華座上に結跏趺坐する姿を描きます。図様としては通例のもので、類例としては重要文化財に指定されている和歌山県・金剛三昧院本や千葉県・長徳寺本が知られています。

本作の特筆すべき点は華麗かつ精緻な彩色表現にあります。明王の着衣の文様に施された細かい截金や宝珠などに見られる縹緗彩色、各持物の金具部分や宝瓶の龍などに用いられる抑制された金泥盛り上げ彩色など、丁寧に繊細な賦彩に高い技量が示されており、制作者が平安仏画の技法をしっかりと受け継いでいることをうかがわせます。

鎌倉時代に遡る愛染明王像は府内においても複数例知られていますが、その中でも本作は作行きが優れるものとして大変貴重です。



全図（描表装含む）



顔貌



条帛の雷繫文様





裙や裳の截金文様



裙の鳳凰丸文



宝瓶に金泥で表現された双竜



壇上の雲気や火焰宝珠



描表装の輪宝や羯磨文



〈指定 美術工芸品（彫刻）〉

②木造菩薩立像

時代：鎌倉時代

法量 像高 95.8cm

所有者：勝龍寺（長岡京市）

勝龍寺本堂に安置される菩薩立像は、正面向きながら、上体をやや右に向け、腰を左に捻り、右足を半歩前に出す動きのある姿勢の像です。構造は、一つの材を前後に割り、内削りをしたのちに組み合わせる一木割矧造で、表面を素地仕上げとします。非常に高い髻やひきしまった量感ある体軀の表現などに、鎌倉時代前期の特徴がよくあらわれており、とりわけ髻や耳の形などの細部に、仏師快慶の作風との共通性がうかがえます。

また、胸前で宝珠をささげる姿勢は、奈良・法起寺の金銅菩薩立像（重要文化財）など、飛鳥時代に類例があるものの、鎌倉時代には類例のない珍しいものです。

鎌倉時代初期に快慶周辺の慶派仏師によって制作された、特色ある姿の菩薩立像の優品として、貴重なものといえます。



頭部側面



像底



全図

〈指定 美術工芸品（考古資料）〉

③金比羅山古墳出土品

所有者：京都府

管 理：山城郷土資料館

金比羅山古墳は宇治市広野町寺山に所在した直径約 40 mの円墳で、二つの埋葬施設が確認されました。中央の第一埋葬からは中国製の銅鏡、玉類、刀剣、農工具等の副葬品が出土し、隣接する第二埋葬からは、埴輪の技術を応用して製作された土製円筒棺と、農工具類が出土しました。また、墳丘からは、墳丘テラス面に樹立された各種の埴輪が出土しました。

本資料は鉄鍬や鉄甲冑といった軍事的色彩の強い副葬品が含まれていないのが特徴です。また、第二埋葬の土製円筒棺の類例は奈良盆地に多く、南山城地域と奈良盆地の首長間の交流を示す資料と位置づけられます。埴輪は、規格性の高い円筒形埴輪が多く、形象埴輪の種類も豊富です。

本資料は、京都府における古墳時代の文化の一端を示す資料で、高い学術的価値を有します。



銅鏡・鉄製品・玉類



円筒形埴輪・朝顔形埴輪



土製円筒棺



## 〈決定 文化財環境保全地区〉

### ④新殿神社文化財環境保全地区

所有者：新殿神社（精華町）

新殿神社は、近鉄山田川駅の北西、木津川台丘陵の東端部に位置しています。旧山田村と旧乾谷村の産土神で、創建や沿革は詳らかではありませんが、応長元年（1311）に綴喜郡普賢寺村（現京田辺市普賢寺）より勧請されたと伝わります。

新殿神社の境内には、石造十三重塔（重要文化財、延徳3年〔1491〕）や本殿（府指定有形文化財、天文16年〔1547〕）、末社八王子社（府指定有形文化財、16世紀中期）などの建築物・工作物が所在し、周囲にコジイを主とした境内林が広がっています。周辺の開発が進む中であって、里山地域の中の「鎮守の森」として良質な景観を保ち、京都府指定文化財の保存を図る上でも欠かせないものとなっています。



本殿域正面



本殿及び末社八王子社



舞台（中央）、南氏子詰所（左奥）、社務所・祓所（右奥）



# 京都府指定・登録・暫定登録文化財等の保存修理事業等

令和2年度に行った京都府指定・登録・暫定登録文化財の保存修理事業等の概要を紹介します。

## 【1】建造物

文化財の適正な保存のために実施される事業経費の一部について、要綱に定めるところにより補助金を交付しています。建造物の管理と修理を主な対象としており、令和2年度は新規31件、継続11件の保存修理事業に助成しました。

亀岡市の千手寺開基堂（平成29年度指定）は、江戸時代前期に建てられた桁行三間、梁行三間の仏殿で、地域的特徴を有しています。経年による腐朽破損や傾斜等が著しく、建物の状態が悪化していたことから、平成30年度から3箇年で解体修理を行いました。



解体途中の様子



千手寺開基堂の堂内



千手寺開基堂の外観



## 【2】美術工芸品

美術工芸品では、掛け軸、襖絵、古文書などを対象とした保存修理事業や防災施設整備事業を行っています。令和2年度は継続3件、新規3件の保存修理事業と新規3件の防災施設整備事業に助成しました。

長岡京市乙訓寺の木造十一面観音立像（平成29年度暫定登録）は、木造寄木造、素地仕上げの等身像です。台座の痛みが著しく、像の矧ぎ目の緩みもみられ、像が倒壊する危険があったため、令和2・3年度の2箇年で解体修理を行うことになりました。

令和2年5月、像本体を解体したところ、像内から非常に多くの文書（結縁交名）が発見され、この像が文永5年（1268）7月17・18日に制作されたことが明らかになりました。興福寺とのつながりを想像させる内容を含んでおり、詳細調査がまたれます。



乙訓寺木造十一面観音立像の像正面と解体途中の様子

[画像提供（右）：公益財団法人美術院]

## 【3】史跡名勝天然記念物・文化的景観

指定地内で自然崩落した土地の整地、説明板・境界標・警報・消火設備の設置等の管理に係る事業や樹木の剪定・樹勢回復、き損や劣化した石垣・園池等改修事業、保護増殖施設の設置などに係る事業を対象にしています。

令和2年度は、新規1件、継続3件の修理事業等に助成しました。新規案件では、史跡萬福寺境内（宇治市）において2箇年計画で土塀改修等を実施することになりました。継続事業では、名勝両足院庭園（京都市東山区）において景観維持のための植栽、史跡峯山藩主京極家墓所（京丹後市）で土砂除去整地工事、名勝法常寺庭園（亀岡市）において土砂除去工事を行いました。

## 【4】文化財環境保全地区保存事業

参道等の復旧整備、災害復旧等の事業を対象にしています。令和2年度は新規2件の事業に助成しました。八幡宮（京丹波町）は鳥居の建て替えと看板設置、観音寺（福知山市）は谷川復旧の工事を実施しました。

## 令和2年度京都府暫定登録文化財一覧（89件）

※文化財の名称には一部略称を使用した。

### 〈建造物〉

- 【京都市】▽聚光院表門 ▽吉田神社末社齋場所東神明社 ▽吉田神社末社齋場所西神明社 ▽吉田神社末社齋場所東諸神社 ▽吉田神社末社齋場所西諸神社 ▽吉田神社末社齋場所東御廊 ▽吉田神社末社齋場所西御廊 ▽護国院客殿 ▽護国院経蔵 ▽西来院客殿 ▽西来院庫裏 ▽西来院表門 ▽常光院玄関 ▽堆雲軒客殿 ▽堆雲軒表門 ▽退耕庵表門 ▽大中院客殿 ▽大中院玄関 ▽大中院書院 ▽大中院表門 ▽大統院玄関 ▽大統院表門 ▽仲源寺表門 ▽両足院書院 ▽両足院庫裏 ▽両足院供待 ▽両足院台所門 ▽常寂光寺仁王門 ▽常寂光寺山門
- 【亀岡市】▽延福寺本坊 ▽延福寺鐘楼 ▽延福寺二天門 ▽延福寺表門 ▽神蔵寺本堂 ▽真福寺瑞雲軒 ▽龍潭寺方丈 ▽龍潭寺三宝殿 ▽龍潭寺開山堂 ▽龍潭寺鐘楼
- 【南丹市】▽城崎神社本殿 ▽熊野神社本殿 ▽熊野神社拝殿 ▽若宮神社本殿 ▽若宮神社拝殿
- 【与謝野町】▽西禪寺本堂

### 〈美術工芸品〉〔 〕内所有者

#### 絵画

- 【長岡京市】▽光明寺障壁画（旧宝永度内裏常御殿障壁画）〔光明寺〕
- 【木津川市】▽絹本著色最勝曼荼羅図〔現光寺〕
- 【南丹市】▽紙本著色小出吉政像〔南丹市〕 ▽紙本著色小出吉政夫人像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出吉親像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出吉親夫人像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英知像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英知夫人像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英利像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英利夫人像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英貞像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英貞夫人像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英持像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英持夫人像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英常像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英常夫人像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英筠像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英筠夫人像〔南丹市〕 ▽絹本著色小出英教像〔南丹市〕
- 【綾部市】▽絹本著色釈迦十六善神像〔正暦寺〕
- 【福知山市】▽絹本著色釈迦十六善神像〔観音寺〕 ▽絹本著色薬師十二神将像〔観音寺〕 ▽絹本著色仏涅槃図〔観音寺〕 ▽絹本著色千手観音像〔観音寺〕
- 【与謝野町】▽紙本墨画淡彩禅宗祖師図屏風〔常栖寺〕



吉田神社末社齋場所東神明社



絹本著色小出吉親像  
〔南丹市〕



## 彫刻

- 【城陽市】▽木造大將軍神像〔旦那神社〕
- 【木津川市】▽木造牛頭天王半跏像〔松尾神社〕▽木造女神坐像〔松尾神社〕
- 【井手町】▽木造不動明王坐像〔西福寺〕
- 【和束町】▽木造不動明王立像〔金胎寺〕▽木造毘沙門天立像〔金胎寺〕
- 【精華町】▽木造十一面觀音立像〔如来寺地藏講〕▽木造菩薩立像〔蓮墓寺〕▽木造薬師如来立像〔蓮墓寺〕  
▽木造薬師如来坐像〔想念寺〕
- 【亀岡市】▽木造狛犬〔本殿内安置〕〔愛宕神社〕▽木造狛犬〔愛宕神社〕▽木造薬師如来坐像〔楽音寺〕
- 【京丹波町】▽木造阿弥陀如来立像〔亨徳寺〕▽木造阿弥陀如来及び両脇侍像〔大圓寺〕
- 【綾部市】▽木造地藏菩薩半跏像〔施福寺〕

## 考古資料

- 【京都市】▽三輪玉付大刀 坊主山1号墳出土〔京都府〕▽人物埴輪 青山1号墳出土〔京都府〕

## 〈史跡・名勝〉

- 【宇治市】▽淀藩主永井家墓所



木造牛頭天王半跏像その1〔松尾神社〕



木造牛頭天王半跏像その2〔松尾神社〕



三輪玉付大刀 坊主山1号墳出土〔京都府〕



淀藩主永井家墓所

